



家族の笑顔が咲く暮らし

# ほっけん通信

このほっけん通信は  
ご縁があった方に  
お送りしている通信です。

ゆきホームス 堀田建築(有)



突然  
ですが!

## 「なぜ、堀田さんは、この仕事をしているのですか?」 最終章



お答え  
します 終

東京での暮らしも7年近くを迎えたある日…。下宿の電話がなりました。「もしもし…」  
「あー俺だよ」と、久々に父の声でした。色々とその時の私の暮らしや仕事の状況な  
どを聞かれ、雑談しながら、「静岡に帰ってこないか?」と予期せぬ言葉がでました。

「なにかあったんか?」というと、電話は弟(今の専務棟梁)にかわりました。「社長があまりにいそ  
がしすぎて、体がたりん。とりあえず片腕になってくれないかなー。」ということでした。私は一旦帰省。よく話を  
聞くと、社長は現場仕事に、各現場管理・営業・打合せ・雑務・人事…そして社長業と、毎日がてんこ盛りで、「ど  
うにもならないんだよ。」と、かっこつけずに、それがありのままの話でした。「で、俺はどうすればいいの? 建  
築のけの字も知らないのに…」というと、「最初は勉強がてら雑務全般で、日々営業と管理を覚えてくれ。」とそ  
れだけでした。こうして私は東京に戻り職場の上司に相談、ちょうど横浜に転勤の内示の話が出たばかりで、  
なんとタイミングがよかった(?)のかな。当時プライベートでの出来事や、愛車の単車が盗難には合うはで、  
かなり気落ちしていた矢先の電話でした。東京での生き方に疑問を抱いていた私にとって、ある意味願ってもな  
い電話が入った、と言っても過言ではなかったのです。こうして私は、25歳の時に東京での生活にピリオドを打  
ち、最後の日は、新横浜の駅で親友に見送られ新幹線に乗りました。今でもその日の事は忘れません。

そして帰郷した翌々日に入社、この仕事を始めました。管理も営業も建築のイロハもほぼ何も教えてはもら  
えませんでした。が“習うより慣れる”という親方でした。こうしてみなさんに支えられ24年目の私があります。  
今はなき親方の電話が、私を救ってくれたのかもしれない。まさに東京での私のことを、故郷で木のうえに  
立って見ていた(親)のだろうと思っています。人生にタラレバはないですが、もしあの電話がなかったとしたら…  
私は都会の片隅で、今もなにかを見つけ出そうとしていたのかもしれない。(完結)

## 今年もやります。ゴールデンウィークまるごと住まいDAY!



5/3 4 5 6 7

全日 10:00~16:00 の間、ご自由に出入りOKです。

駐車場・トイレ・お飲物・キッズDVD 完備



ご来場記念品

レストランカレールウ  
(25食入り)



住まいのお困りごと・おなやみ・お手入れから  
各種リフォーム・解体・増改築・建て替え・新築について  
知りたいこと・わからないことに  
お答えいたします。(別紙チラシをご参照ください。)

営業はないですよ。  
お気軽にお立ち寄り  
してみてください。

発行元：ゆきホームス 堀田建築有限会社

●本店/静岡市清水区押切1200-10 ●工場/清水区梅ヶ谷1290-1 ●サービスコール ☎0120-554-406(心地よいマイホーム)

加盟紹介/静岡県安心安全リフォーム協議会・ふじの国リフォーム支援会・県しずおか優良木材の家づくり・クリナップ水まわり工房・リクシルリフォームネット・太陽光取り入れシステム認定店

<http://hokken-home.com/>